

地震ハザードマップについても県が見直し次第、取りかかるとの予定である。

問 大規模災害における仮設住宅の建設場所、戸数は。

答 檀原運動公園に約1,600戸を建設可能と考えている。不足する場合は他の土地の選定、公営や民間の空き住宅も活用したい。広さは1戸当たり約30平米を予定しており、3人程度は入居できる。

問 これだけでは足りないかと思う。熊本では仮設住宅が足りず、また体育館も小さく、テントや車内で避難生活をしている方が多くいる。本市には大きなアリーナがないが、避難所だけではなく、大きな大会・イベントもできないが、建設等は検討しているか。

答 市内に県立体育館もあるので、県とも相談し、中央体育館のリファインも考え、どのような施設が必要かよく吟味した上で対応したい。

問 水害時に必要となる土のう袋が寺田町交差点高田バイパス高架下に保管されているが、他の保管場所は。

答 土のう袋は寺田町と西新堂町の高架下に約4,000個備蓄しており、これで市内

全域をカバーできると考えている。情報は消防団とも共有しており、急な浸水災害に対応できると考えている。



檀原市洪水ハザードマップ

公用車のドライブレコーダー設置

問 県内市町村で公用車にドライブレコーダーをつけているところがある。事故対策だけでなく防犯にも役立つが、本市では検討しているか。

答 公用車の事故が増加傾向で対策が急務となっており、職員対象の安全運転講習の実施とあわせ、平成29年度から3カ年計画で公用車にドライブレコーダーを設置し、安全運転意識の向上を目指す。また事故発生時の詳細な状況把握ができ、責任の明確化と事故処理の迅速化が可能になる。また公用車は市内全域を走行するため有事の際の映像記録の提供や防犯に効果があると考えている。

問 他市では防犯パトロール車や一般車へのドライブレコーダーの設置補助金を出しているところもあるが、本市では検討しているか。

答 本市では要綱を定め、青色回転灯の使用認可を受ける際の経費について交付金を交付しているが、ドライブレコーダー設置費用は補助対象になっていない。公用車での効果や近隣市町村の状況も見ただで検討したい。

ネーミングライツ

問 檀原市総合プールの今年度の入場者数は。

答 今年度の入場者数は9万4,309人で、昨年度の8万2,903人から1万1,406人、約14%の増加となった。高取町、明日香村の児童生徒への無料券配布、ナビプラザでの前売り券販売、チラシ、ポスター、広告掲載等の効果があったと思われる。

問 ネーミングライツを導入した場合、入場者数が多いほど企業にメリットがあるが、本市ではプール等の公共施設についてどう検討しているか。

答 対象施設は総合プール、中央体育館、香久山体育館、曾我川緑地体育館、かしはら万葉ホール、こども科学館、昆虫館、歴史に憩う檀原市博物館などが考えられる。現在は導入していないが、効果を見きわめて検討していきたい。

市内の企業との連携、取り組み

問 市内には多くの企業があり、災害時の協定、行事等に協賛金の協力やスタッフとして参加してもらっているが、国道24号線寺川北側には下水道が入っておらず多くの商店や企業が苦勞しているが、今後の下水道の計画は。

答 この区域は下水道の未整備区域で、寺川北側から田原本町との行政界まで、国道24号線沿い市街化区域の約30.5ヘクタールの汚水処理する計画で、ツインゲート60メートル手前の既設マンホールから行政界までの約900メートルの幹線整備を行い、効果の大きいところから面的に整備する。幹線整備は今年度を含み4年計画で、今年度は寺川十市橋北側から320メ

ートル、29年度から31年度に残り580メートルを整備する計画である。

問 檀原中学校から京奈和自動車道に向けて道路工事がされているが、開通予定は。

答 当該小槻町十市町線の東端の寺川にかかる興仁橋より市道田原本大垣線までの区間約1,350メートルは既に利用いただいており、市道田原本大垣線から京奈和自動車道までの区間約330メートルは平成25年度より工事を進めており、来年度工事完了後、速やかに開通する予定である。

問 (株)ジェイテクトには市民が多く雇用されているが、工場拡大の話は聞いているか。

答 既に産業振興課で新用地の農振農用地の除外、転用等について話を進めている。また自治会や地元等の理解も得ていると聞いている。

問 企業との連携、取り組みについての市長の考えは。

答 (株)ジェイテクトは一部上場の優良企業であり、我々の地域に非常になじんでもらっており、今後もウイン・ウインの関係でつき合いたい。そのため議員や地元の皆さんの協力をお願いしたい。